

自力補正型ソフトアブソーバーの取付け・取扱い説明書

(FMC型マグナムシリーズ・ソフトアブソーバー)

自力補正型ソフトアブソーバーの取付け・取扱い説明要領に従い、充分注意して設置していただければ、安全かつ長期間に渡って最適な状態でご使用になれます。

取付け概要

設置場所に歪が無く、充分強度がある構造物上に、ソフトアブソーバーを取付けて下さい。(FIG. 1)
ロッド先端のロッドキャップと荷重物体が水平に当たる様に調整(最大偏心角度: $\pm 5^\circ$)して下さい。
熱を最大限に発散させる為、本体への塗装は避けて下さい。必要に応じ保護板を使用し、酸、スチーム、溶接スパッタ、ヒューム、粉塵等から本体を保護する様に処置して下さい。又、2本以上で併用してご使用の場合は、同一機種を使用し、荷重が均等に分配される様に設置して下さい。

◎取付け部板厚とフランジ取付けボルト

シリーズ	“T” 最小寸法	取付ボルト
FMC 3 3	1 0 mm	M 6
FMC 4 5	1 3 mm	M 8
FMC 6 4	1 6 mm	M 1 0
FMC 3 6	1 6 mm	M 1 2

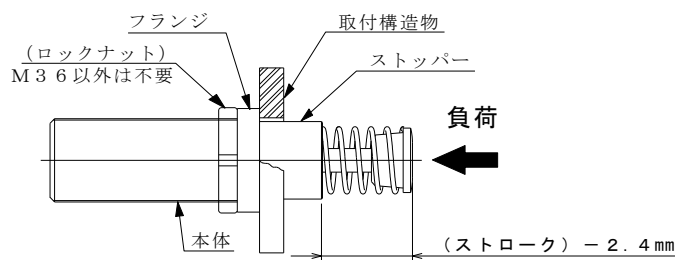


FIG. 1

基本的取付け方法 (FIG. 2)

この設置方法は、ソフトアブソーバー付属の設置用ロックナットを用いて行う方法です。
構造物にあらかじめ雌ねじを加工しておき、ソフトアブソーバーの外側ネジ(雄ねじ)をネジ込みます。
そして、スパナレンチか、ドリフトピンを用いロックナットでしっかりと固定して下さい。
ロックナットの締め付けが不十分だと構造物の振動等で緩む可能性がありますのでご注意下さい。

フランジによる取付け方法 (FIG. 1)

所定のボルトを用い、構造物にソフトアブソーバーをボルト締めして下さい。
このボルトは緩まない様にしっかりと締め付けて下さい。
(注記: 取り付ける前に、フランジより先にロックナットを本体にセットして下さい。
本体内側でのロックナット止めが基本です。)

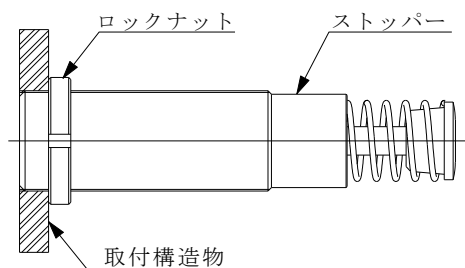


FIG. 2

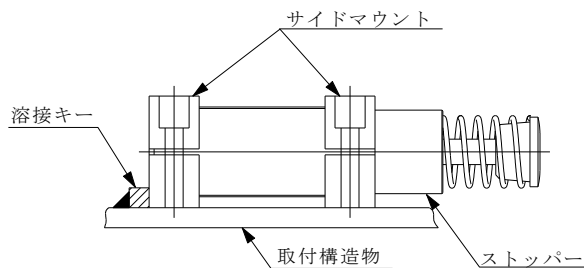


FIG. 3

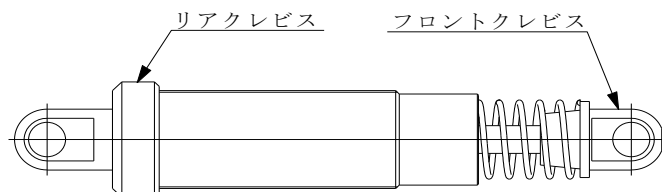
サイドマウント型取付け

ボルトを使用して、ソフトアブソーバー・サイドマウント型を取付構造物に取付けます。(しっかりとネジ締めして下さい。) 後足の更に後側にキーを設け溶接で固定する事により、ソフトアブソーバーの移動防止を致します。(FIG. 3)

クレビス型の取付け

後部クレビスと前部ロッド側クレビスを適合させながら装置にセットして下さい。（F I G . 4）

この時、ボトム・アウト（底突き）せずに、ストロークエンドより 2.4 mm 以上手前で止まる様、本体設置を調節して下さい。



F I G . 4

ソフトアブソーバーの作動テストについて

上記の取付方法にてソフトアブソーバーの設置が終了しましたら設備を稼働させて、ソフトアブソーバーの作動テストを実施して下さい。自力補正型ソフトアブソーバーは調整不要にて、理想的でスムーズな衝撃吸収を実現いたします。万一、下記の様な症状が出て衝撃吸収が充分でないようでしたら、処置欄の対策が必要になります。その場合には、弊社・技術までご相談下さい。

症 状	処 置
◎先端ロッドキャップ側で衝撃が発生 （はねかえりに近い現象。）	○1段階下のソフトアブソーバーのご使用を推奨いたします。現在のソフトアブソーバーでは特性が強いため、等価質量のより小さいものが適切です。
◎ストッパー部で衝撃が発生 （アブソーバ機能が働いていない。）	○1段階上のソフトアブソーバーのご使用を推奨いたします。現在のソフトアブソーバーでは特性が弱いため、等価質量のより大きなものが適切です。

ソフトアブソーバーが原因で発生した二次災害については、不二ラテックス(株)は責任を負いかねます。
二次災害の起こらない様対策を行って下さい。

不二ラテックス株式会社

精密機器本部

営業部 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3 - 1 9 - 1

TEL 03 (3 2 5 9) 2 5 2 4

FAX 03 (5 2 8 2) 7 5 2 0